



車いすでの投票が可能なバリアフリー化された投票所

小西 久美子 議員

投票所リニューアル

質問(小西久美子議員) 投票所のバリアフリーの充実及び投票所の増設について伺います。

答弁(選挙管理委員会事務局長)

現在の40投票所は、公共施設や自治公民館を借用しています。そのうち、常時スロープが設置されている施設が13カ所で、その他の施設は簡易スロープを設置して対応しています。車椅子利用者に対しては、簡易スロープにより対応していますが、移動が困難な場合は職員が介助することにして

います。経費面を考慮しますと、自治公民館においては全ての施設をバリアフリーに対応するための工事を行うことは困難であると考えています。今後、投票区内にバリアフリー化された施設が整備された場合は、投票所の変更するなど対応します。

投票所の増設については、投票区の再編の効果があらわれていると考えておりますので、投票区を分割、増設することについては考えていません。

なお、投票区の再編による投票率は、市議会議員選挙で比較しますと、平成19年64.84%、平成23年64.49%であり0.35ポイント減少しましたが、新人が立候補している投票区では上昇し、立候補者がいない投票区では横ばいか減少している状況にあります。投票率は、全国的に下落傾向にある現状を考えると、本市の投票区再編によって投票率が下落したものは考えていませんので、今後も期日前投票のPR等広報活動を行い、投票率向上を図ります。

高野 礼子 議員

大田原市スポーツキャラマーチンフェスティバル

質問(高野礼子議員) ゆるキャラグランプリで全国1位を目指す意気込み及びPR活動計画について伺います。

答弁(産業振興部長)

ゆるキャラグランプリについては、初参加の一昨年は全国第4位の快挙を成し遂げましたが、昨年は全国第13位と順位を下げる結果となりました。今年のグランプリでは、

昨年の反省を踏まえ、グランプリ開始前からPR活動を始め、投票初日から首位を狙える位置を

目指し、活動を開始しています。官民一体での地域活性化を目的として、「大田原市を元気に」をテーマに、まずは大田原市観光協会に実施本部を設置して、ゆるキャラグランプリに関する問い合わせ窓口を一本化することで、あらゆることにスピーディーできめ細かに対応できる体制を整えたいと考えています。

そして、「大田原市を元気に」というテーマのもとで、市内外の企業にご協力をいただき、企業等に

よる応援団を結成し、官民で同じ目標に向かって取り組むことで、今まで以上に連帯感を強め、今後の協力体制の強化につなげたいと考えています。

また、国際医療福祉大学の地域活性化に興味を持つ学生と連携して、大学内に学生応援団を組織し、「与一くんをゆるキャラグランプリで1位に」をキャッチフレーズに、大学内及び市内近郊でのPR活動を行っていきたいと思います。これらの活動を通して、ぜひ与一くんをゆるキャラグランプリ2013において、今まで以上の上位にランクインできるように活動していきたいと考えています。



ゆるキャラグランプリで上位にランクインしている与一くん